

2012年3月期 第2四半期 決算説明会

東京製綱株式会社

(TOKYO ROPE MFG. CO., LTD.)

2011年11月29日

# 目次

2012年3月期 第2四半期 決算の概要

2012年3月期 見通し

今後の事業戦略について

# 2012年3月期 第2四半期 決算の概要

2012年3月期 見通し

今後の事業戦略について

# 2012年3月期 第2四半期 決算ポイント

## 上期は中国太陽光関連が寄与し、増収増益

**売上高** 359億65百万円 [前年同期比 +9.6%]

中国ソーワイヤ・ワイヤソーの売上増

**営業利益** 12億05百万円 [前年同期比 +41.8%]

主に鋼索鋼線部門で改善

**四半期純利益** 1億26百万円 [前年同期実績△4億83百万円]

(注)海外現法の会計期間は1～6月

# 2012年3月期 第2四半期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	11/3 1・2Q	売上高比	12/3 1・2Q	売上高比	前年同期比	
売上高	32,802	—	35,965	—	+3,163	+9.6%
営業利益	850	2.6%	1,205	3.4%	+355	+41.8%
経常利益	555	1.7%	976	2.7%	+421	+76.0%
四半期 純利益	△483	△1.5%	126	0.4%	+609	—

# セグメント別の状況（売上高）

**鋼索鋼線**：海外ロープ、繊維ロープ増

**スチールコード**：国内減(タイヤコード【震災影響】・ソーワイヤ)  
 海外増(ソーワイヤ・ワイヤソー)

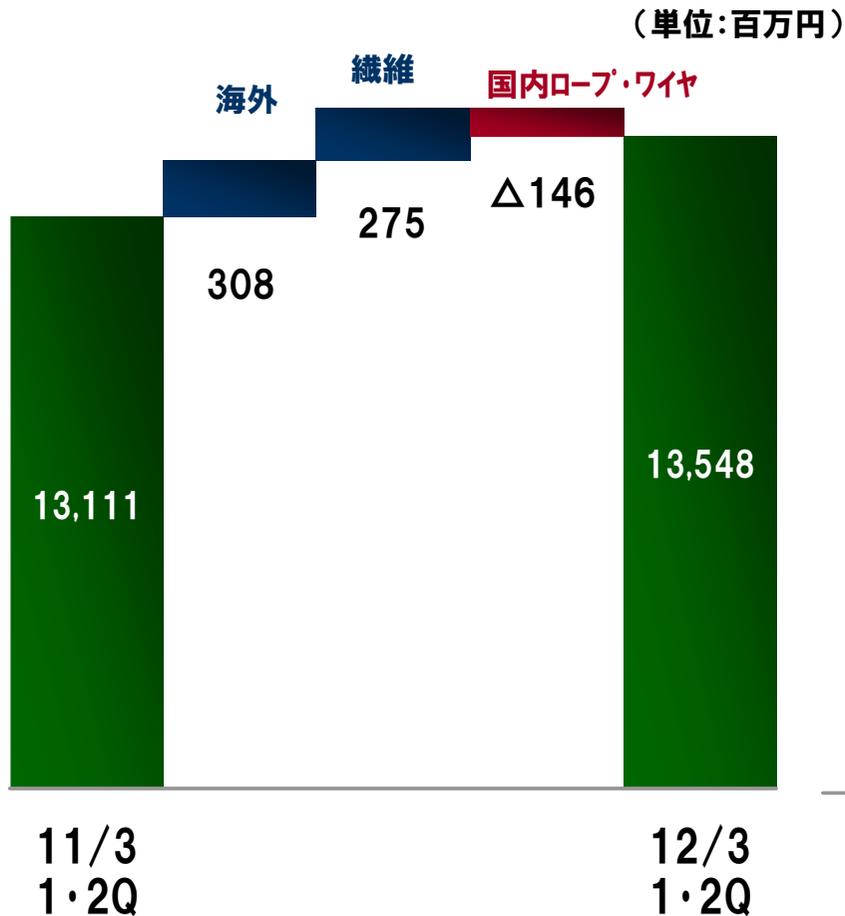
(単位:百万円)

	11/3 1・2Q	構成比	12/3 1・2Q	構成比	前年同期比	
鋼索鋼線	13,111	40.0%	13,548	37.7%	+437	+3.3%
スチールコード	11,039	33.6%	13,525	37.6%	+2,486	+22.5%
開発製品	4,529	13.8%	4,367	12.1%	△162	△3.6%
不動産	613	1.9%	585	1.6%	△28	△4.6%
その他	3,509	10.7%	3,937	11.0%	+428	+12.2%
合計	32,802	100.0%	35,965	100.0%	+3,163	+9.6%

# 増減要因分析（売上高）

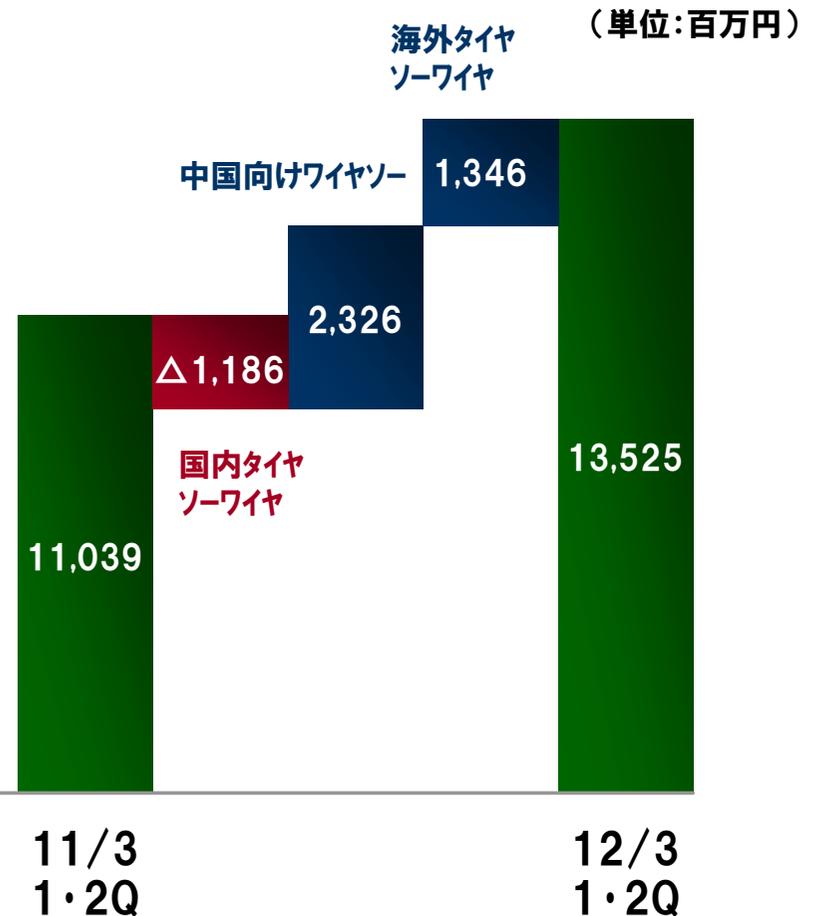
## 鋼索鋼線

ロープ・ワイヤ、繊維ロープ



## スチールコート

タイヤコード、ソーワイヤ、ワイヤソーなど



# セグメント別の状況（営業利益）

**鋼索鋼線：売上増、コストダウン**

**スチールコード：海外増益・国内減益でほぼ横這い**

（単位：百万円）

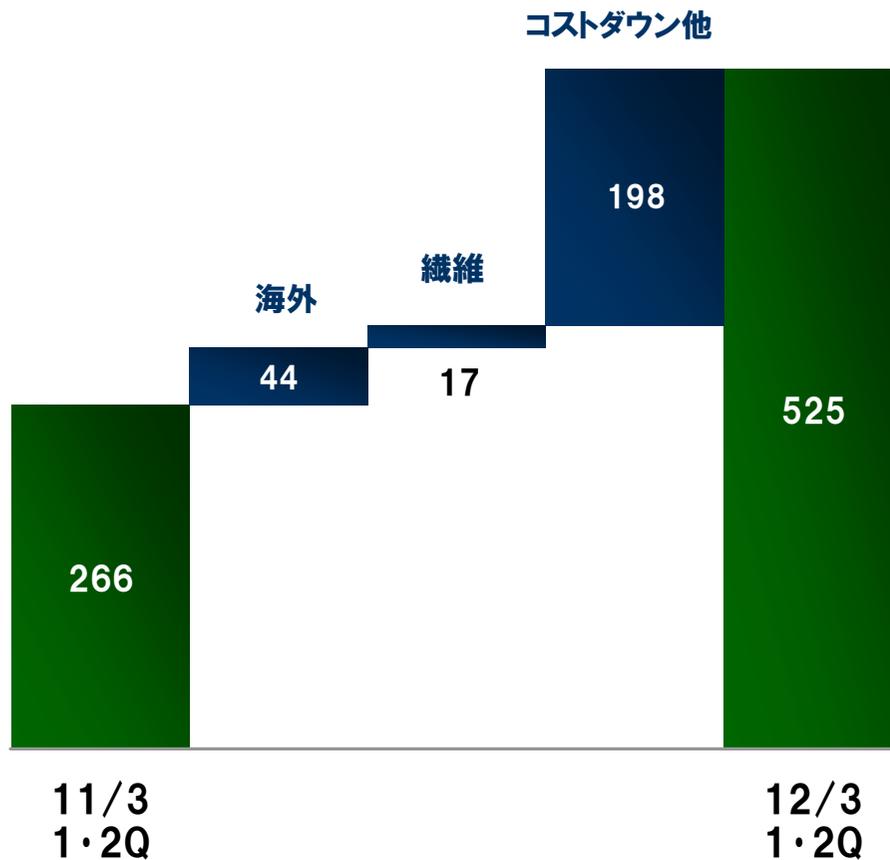
	11/3 1・2Q	構成比	12/3 1・2Q	構成比	前年同期比	
鋼索鋼線	266	—	525	—	+259	+97.4%
スチールコード	505	—	544	—	+39	+7.7%
開発製品	△302	—	△313	—	△11	—
不動産	306	—	245	—	△61	△19.9%
その他	74	—	203	—	+129	+174.3%
合計	850	100.0%	1,205	100.0%	+355	+41.8%

# 増減要因分析（営業利益）

## 鋼索鋼線

ロープ・ワイヤ、繊維ロープ

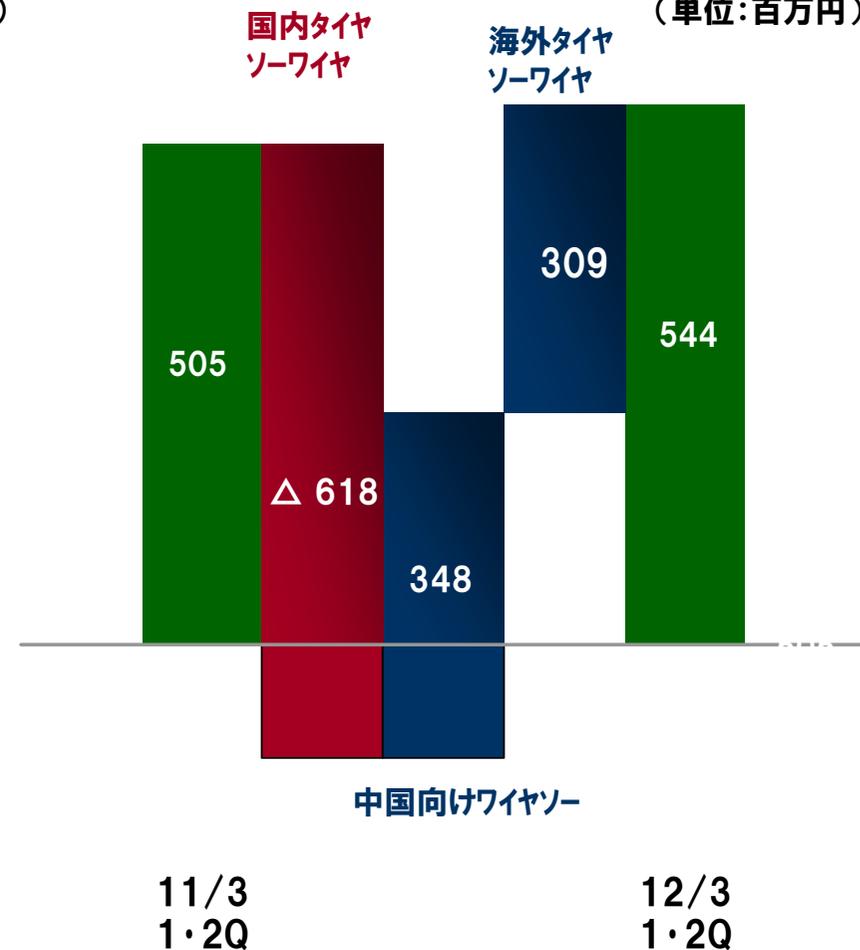
（単位：百万円）



## スチールコート

タイヤコート、ソーワイヤ、ワイヤソーなど

（単位：百万円）



# キャッシュ・フロー

**営業活動： 在庫増や支払債務減に伴う運転資金所要増**

**投資活動： 太陽光関連（ソーワイヤ）増産、  
オフショアロープ事業の投資等**

**財務活動： 前期の借入金返済見合いの借入等**

（単位：百万円）

	11/3 1・2Q	12/3 1・2Q
現金及び現金同等物の期首残高	1,645	3,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,607	△3,678
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,729	△3,078
フリー・キャッシュ・フロー	2,878	△6,756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,286	6,014
現金及び現金同等物の期末残高	2,189	3,314

2012年3月期 第2四半期 決算の概要

2012年3月期 見通し

今後の事業戦略について

# 2012年3月期 年度見通し

## 下期 太陽光関連製品の需給環境変化による減益

売上高 : 750億円 (前期比+4.3%)

営業利益 : 25億円 (前期比△27.8%)

(単位:百万円)

	11/3 実績	売上高比	12/3 見通し	売上高比	前期比	
売上高	71,887	—	75,000	—	+3,113	+4.3%
営業利益	3,463	4.1%	2,500	3.1%	△963	△27.8%
経常利益	3,054	3.5%	2,100	2.6%	△954	△31.2%
当期純利益	765	1.6%	800	1.1%	+35	+4.6%

# 2012年3月期 年度見通し（セグメント別）

## 売上高

上期増加、下期横這いで年度増収

鋼索鋼線：海外ロープ、繊維ロープ 年間を通じて増加

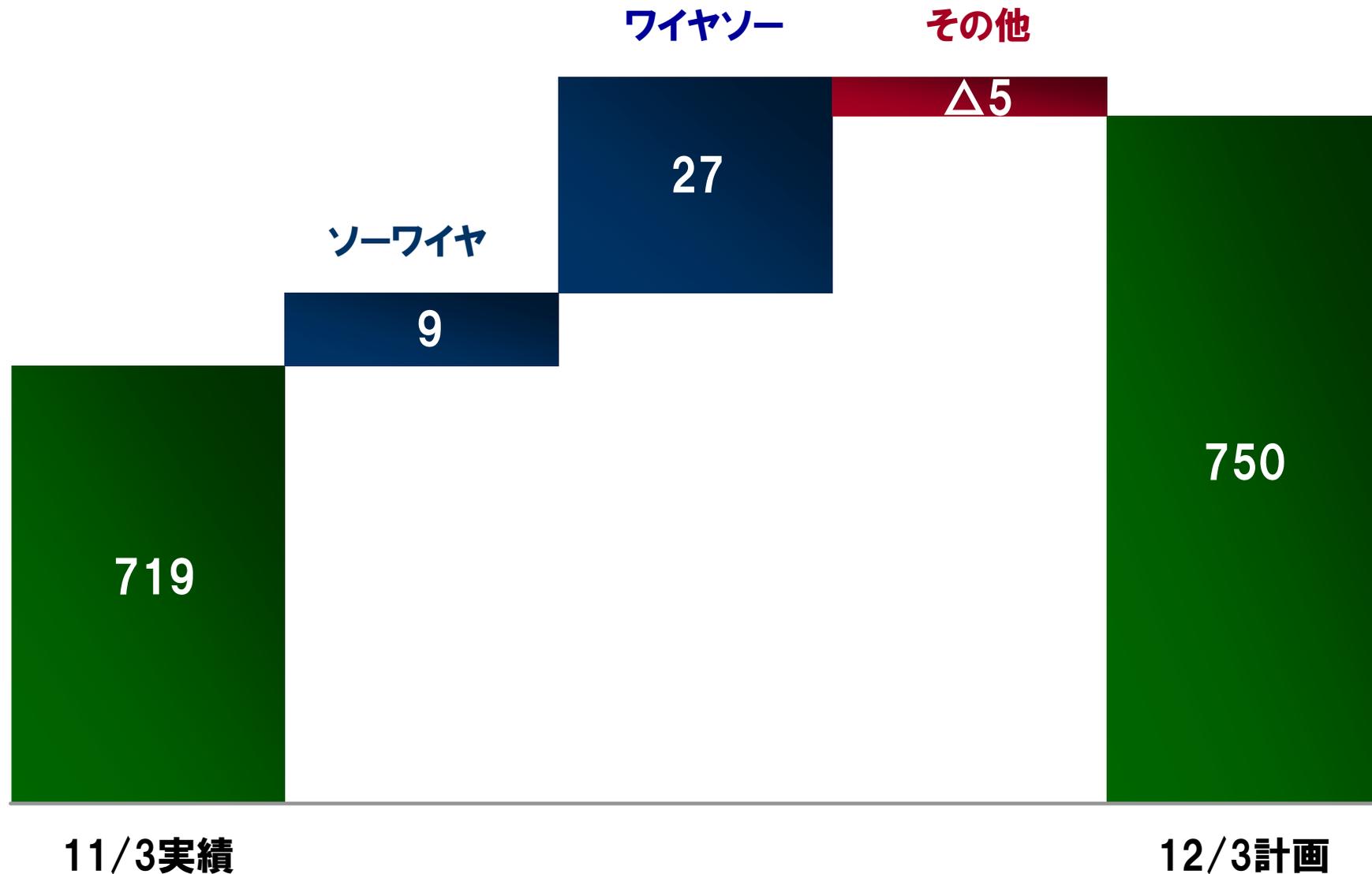
スチールコード：ソーワイヤ・ワイヤソー 上期増、下期横ばい

（単位：百万円）

	11/3 実績	構成比	12/3 見通し	構成比	前期比	
鋼索鋼線	25,565	35.6%	26,500	35.3%	+935	+3.7%
スチールコード	24,108	33.5%	27,300	36.4%	+3,192	+13.2%
開発製品	13,075	18.2%	12,000	16.0%	△1,075	△8.2%
不動産	1,230	1.7%	1,200	1.6%	△30	△2.4%
その他	7,909	11.0%	8,000	10.7%	+91	+1.2%
合計	71,887	100.0%	75,000	100.0%	+3,113	+4.3%

# 増減見通し分析 (2012年3月期 売上高)

(単位:億円)



# 2012年3月期 年度見通し(セグメント別)

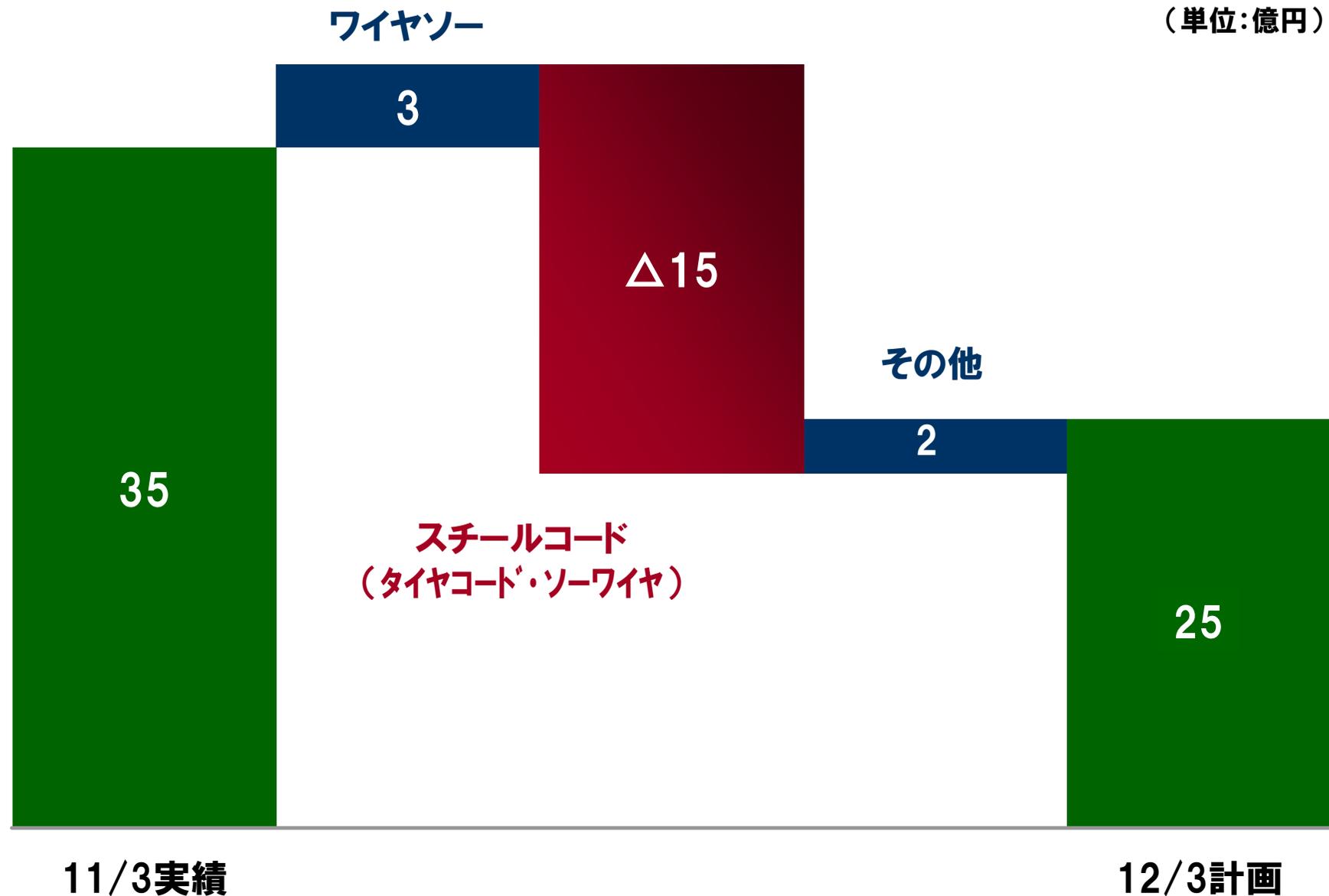
## 営業利益

### 太陽光関連事業環境変化による減益

(単位:百万円)

	11/3 実績	構成比	12/3 見通し	構成比	前期比	
鋼索鋼線	693	20.0%	900	36.0%	+207	+29.9%
スチールコード	1,642	47.5%	400	16.0%	△1,242	△75.6%
開発製品	250	7.2%	300	12.0%	+50	+20.0%
不動産	606	17.5%	500	20.0%	△106	△17.5%
その他	269	7.8%	400	16.0%	+131	+48.7%
合計	3,463	100.0%	2,500	100.0%	△963	△27.8%

# 増減見通し分析（2012年3月期 営業利益）



# 2012年3月期 下期の主要製品見通し

## 鋼索鋼線関連事業

ロープ・ワイヤ 対上期ほぼ横ばい      繊維 季節要因で上期比約2割減(売上)

## スチールコード関連事業

- |        |   |
|--------|---|
| タイヤコード | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内: 生産活動回復、上期比約15%増(数量)</li> <li>・中国: 顧客の在庫調整あり、上期比約10%減(数量)</li> </ul> |
| ソーワイヤ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内: 対上期 輸出数量増も価格下落で売上横ばい</li> <li>・中国: 対上期 価格低下の影響で売上減</li> </ul>       |
| ワイヤソー  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国向け 上期並みの売上を想定</li> </ul>  |

## 開発製品関連事業

開発製品 下期受注増(季節要因)により上期比で売上増を見込む

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

**TCT- I (2010-2011年度の2ヵ年計画)の設備投資は計画通り実施**

(単位:百万円)

	11/3	12/3	2ヵ年合計
	実績	見通し	見通し
設備投資額 (うち、海外)	10,629 (8,970)	3,200 (1,100)	13,829 (10,070)
減価償却費	3,624	3,800	7,424
研究開発費	1,404	800	2,204

2012年3月期 第2四半期 決算の概要

2012年3月期 見通し

**今後の事業戦略について**

# 現在の事業環境認識

## 1. 国内成熟市場化・円高

⇒ 海外成長市場への移転に拍車

## 2. 成長産業である太陽光関連事業

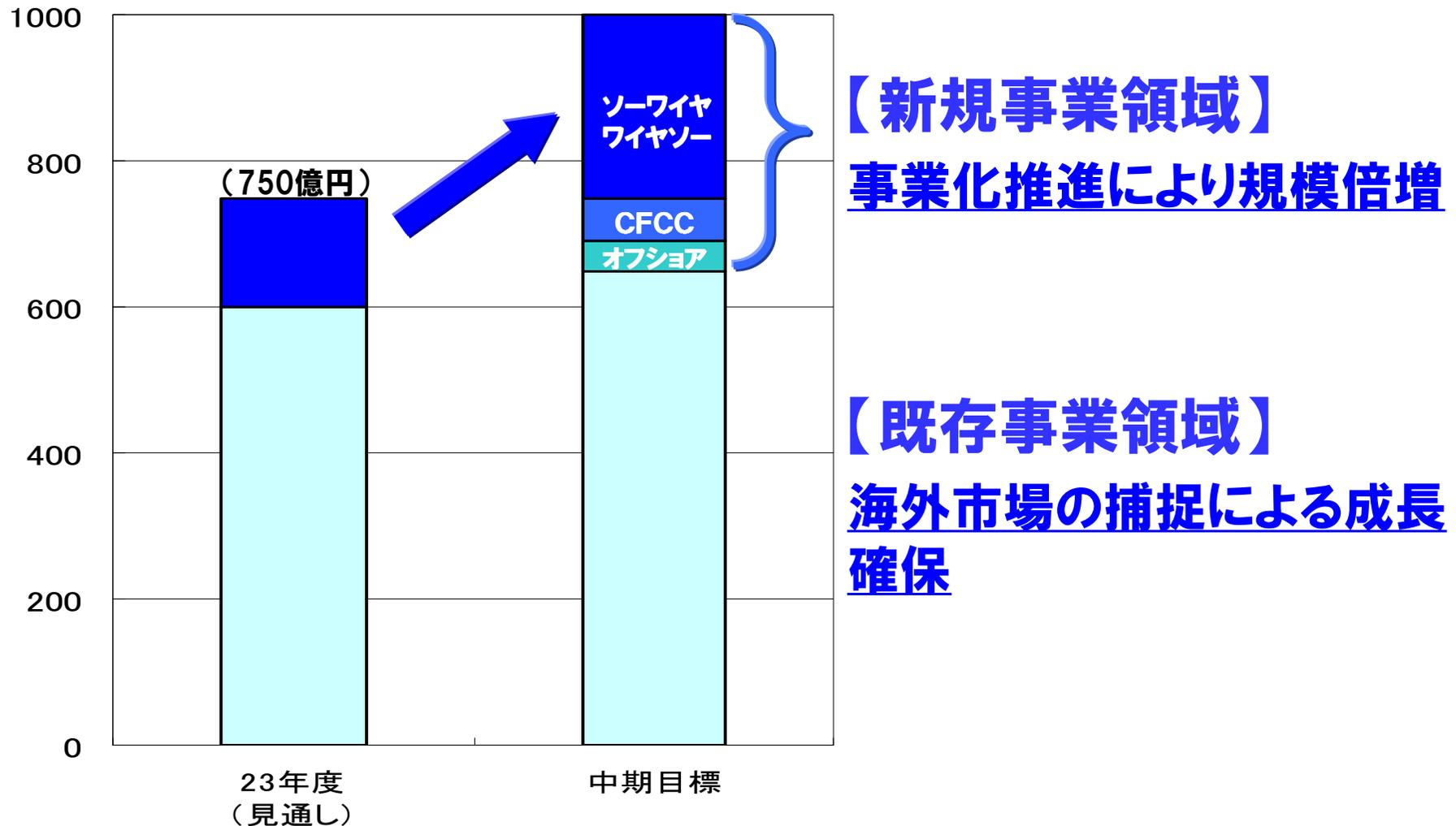
⇒ 短期的調整局面

## 3. 震災

⇒ 原子力代替エネルギー・防災・  
インフラ関連のニーズ拡大

# 事業規模：750億円 ⇒ 1,000億円へ

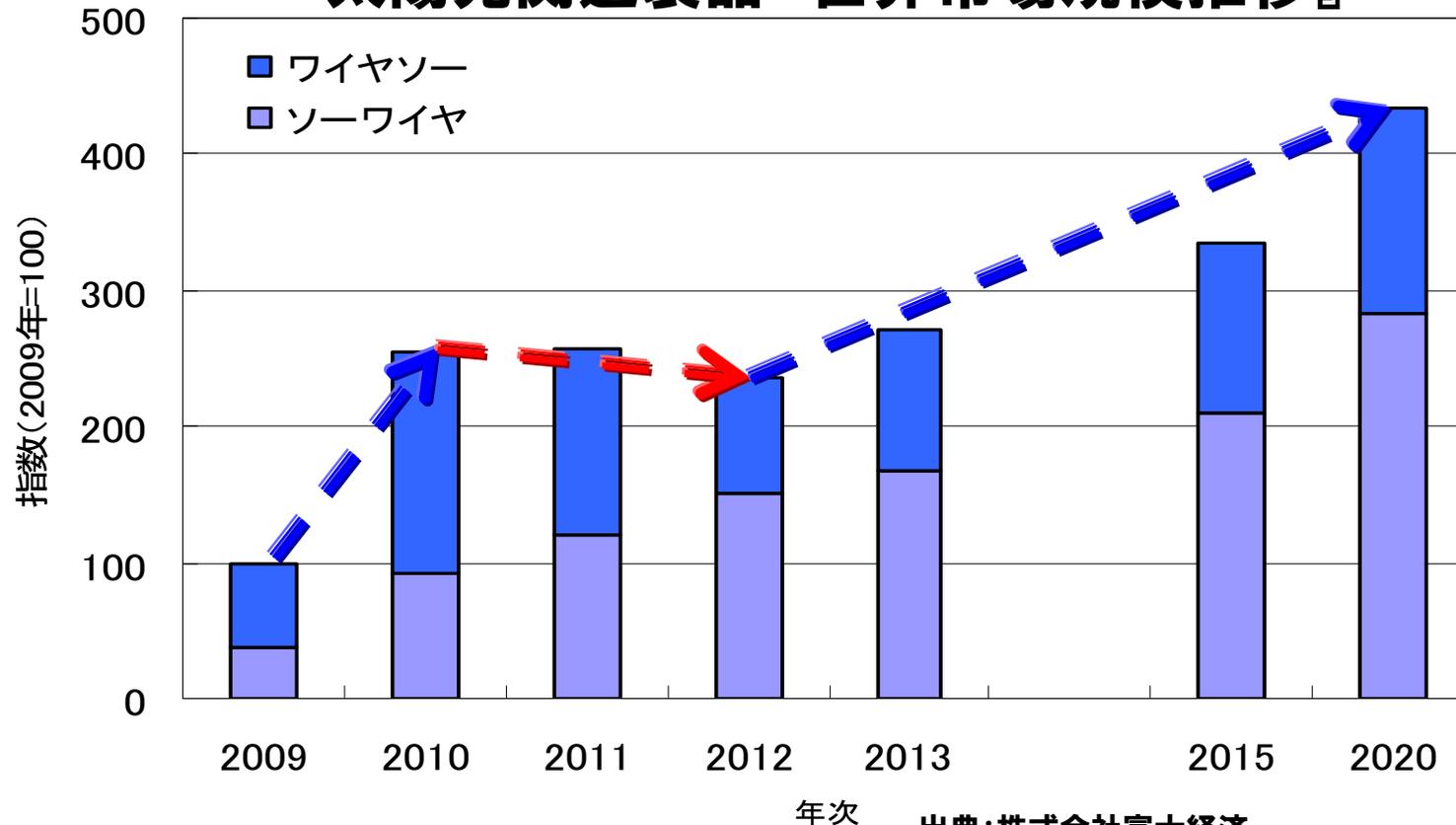
## 中期経営計画『トータル・ケーブル・テクノロジー』 目標：事業規模1,000億円



# 1. 太陽光関連事業

## 需給調整はあるが、成長トレンド

『太陽光関連製品 世界市場規模推移』



# 今後の事業戦略(太陽光関連事業)

★需要回復時を見据えた万全の備え

★他社に先んじた反転攻勢を可能とする態勢構築

## (1) ソーワイヤ

①アジア3生産拠点の確立

【国内拠点】

北上工場・和歌山工場

【海外拠点】

中国/東京製綱(常州)有限公司

マレーシア/TOKYO ROPE MALAYSIA

②差別化商品(極細・ダイヤモンドワイヤ等)の投入

## (2) ワイヤソー

①新機種のマーケット早期投入

②ソーワイヤとのシナジーによる差別化

③コスト競争力の発揮(同業で唯一、中国工場を保有)

## 2. CFCC(炭素繊維複合材ケーブル)

### 【当社の強み】

①世界唯一のCFCCメーカー

※炭素繊維材の撚り線は、世界でも『CFCC』だけ

②国内外最先端技術陣との共同研究



### 【今後の事業戦略】

『軽量』『高強度』『耐食性』『非磁性』等  
特性発揮による新市場の創出

(市場規模:数百億円)

# CFCC(新市場創出への取り組み)

## ①送電線向け

中国及び米国送電網整備向けに  
開発中  
(現在、実証実験中)

送電ケーブルのコア部分を、スチール→CFCCに  
替えることで軽量化



## ②土木補強材

米国ミシガン州に営業拠点を設立  
橋梁・栈橋の新設・架け替え案件を中心に、活動展開中



ミシガン州での使用状況  
Bridge Street Bridge M39

◎橋梁塩害対策用:ミシガン州で受注

◎栈橋PCパイプ用:ヴァージニア州で採用決定

# 3. オフショア事業への進出

## 海底石油・ガス田の深海化

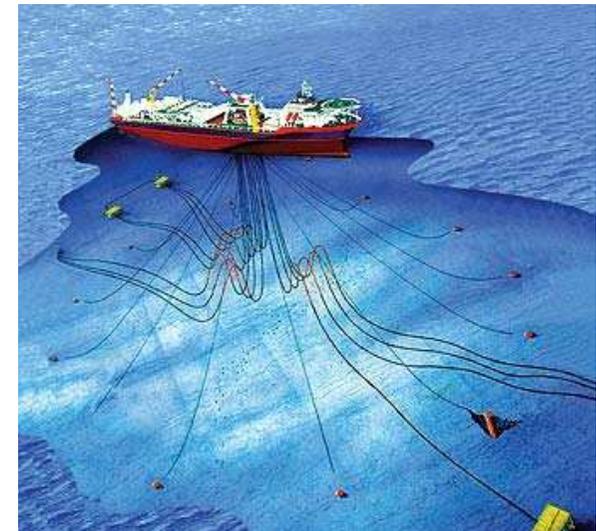
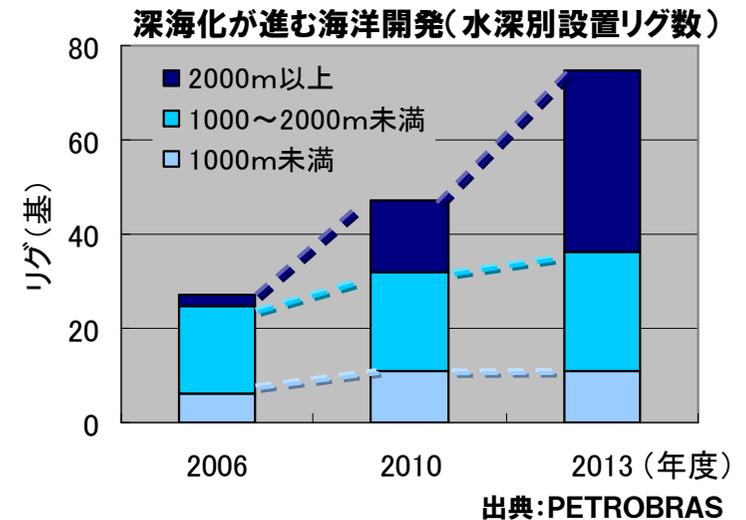


太径・軽量・高強度ロープへの  
ニーズの高まり

### 【今後の事業戦略】

- ①ワイヤロープ  
高麗製鋼との共同事業化  
12月からスタート
- ②繊維ロープ・CFCC  
軽量・高強度に着目した両面からの  
開発推進

※浮体洋上風力発電用の引合いも有り



## 4. 当社繊維ロープ事業の特徴

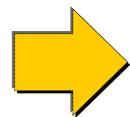
◎スーパー繊維を中心とした差別化商品の市場投入により、国内トップシェア確保

【例】スーパーホーサー(大型エネルギー輸送船向け)

高強度・軽量化

長寿命(ワイヤロープの2倍)

環境配慮(グリース不要)



★差別化商品の開発力を活かし、オフショア・マーケットへ参入

# 5. 既存事業領域・製品について

## ★海外展開による拡販

①エレベータ用ロープ  
ベトナム工場増強

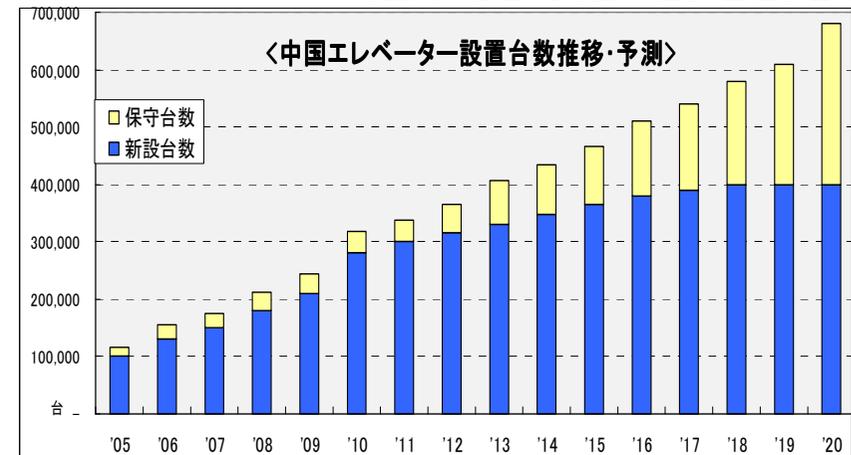
②タイヤコード

マレーシア工場新設によるASEAN・インド対応

③エンジニアリング事業

ロシア生産拠点設立により、本格的市場参入を推進  
橋梁ケーブルの営業活動も展開

※飛躍的に増加する中国EV需要(当社推定)



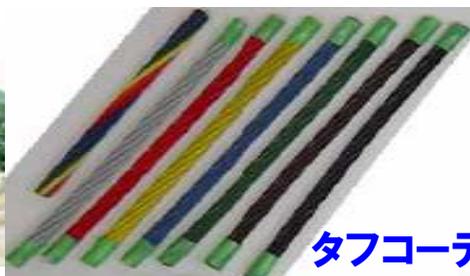
# 震災復興需要について

## ★環境・省エネ・安全・防災の差別化製品投入で インフラ再整備に貢献

	貢献が期待される製品等
鋼索鋼線関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マリコン用海上クレーンロープ</li> <li>・ エレベータメンテ交換用ロープ</li> <li>・ 建設機械用ロープ</li> <li>・ 電線用ワイヤなど</li> <li>・ PC (プレストレストコンクリート) ポール、パイル用鋼線</li> </ul>
スチールコード関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交換用タイヤ向けタイヤコード</li> <li>・ 建設機械用高圧ホース補強材ホースワイヤ</li> <li>・ 太陽光発電関連ソーワイヤ、ワイヤソー</li> </ul>
開発製品関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 港湾、河川の岸壁補修用タイロープ、ロックマット</li> <li>・ 落石防護製品</li> <li>・ タフコーティッド</li> <li>・ 津波バリア など</li> </ul>



高エネルギー吸収防護工



タフコーティッド



津波バリア

# 今後の事業戦略について

## 1. 新たな事業領域

『エネルギー』+『インフラ整備』+『オフショア』

## 2. 新たな事業展開地域

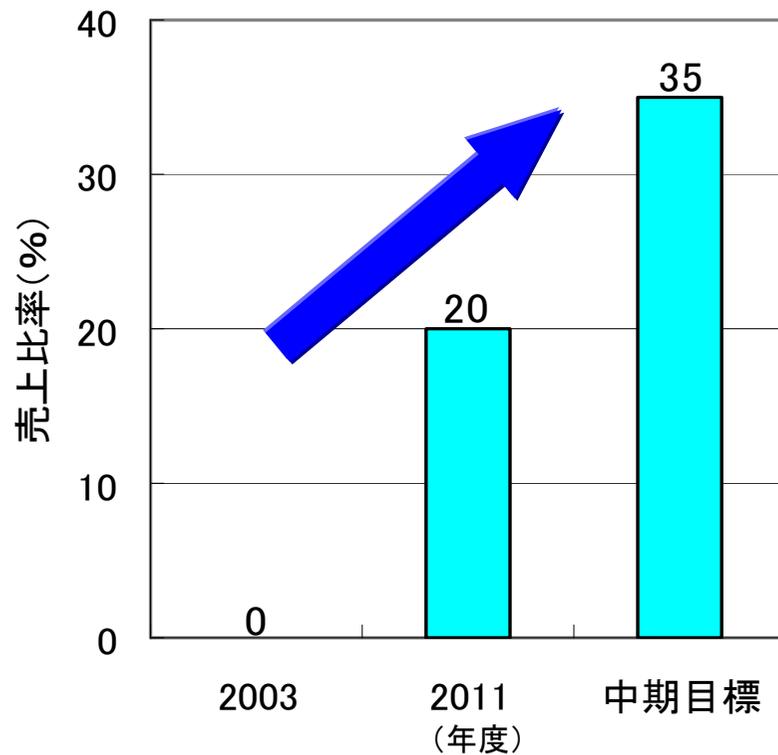
『中国』+『ASEAN』+『北南米』

## 3. 新たな成長エンジン

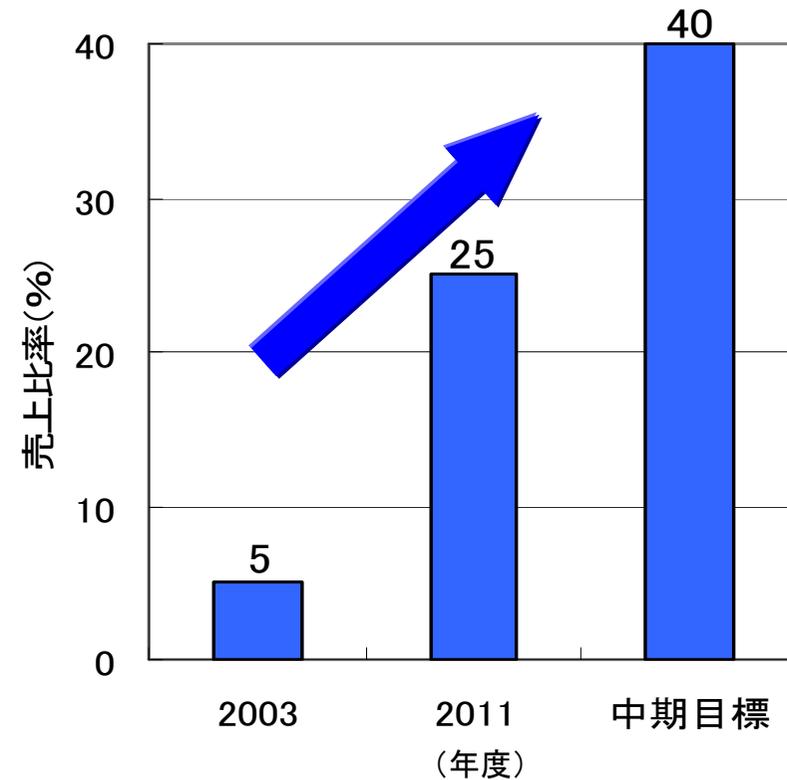
『ソーワイヤ』+『ワイヤソー』+『CFCC』

# 新規事業・海外売上比率の推移

## 新規事業売上比率



## 海外売上比率



# 安定的な株主還元を継続

配当額は前期同様の2円50銭を予定

安定配当を継続

	10/3	11/3	12/3 予定
通 期	2円50銭	2円50銭	2円50銭
配当性向(連結)	85.9%	47.5%	45.4%

## ご注意

- 本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。

東京製綱株式会社

2011年11月